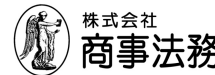


# 基本から理解する 株主・投資家との関係

## ～アクティビストから機関投資家、個人株主等との向き合い方～

セミナー番号:11231101



——実例を踏まえつつ、会社にとって株主とはどのような存在かという基本に立ち返りながら、株主対応の基礎知識を整理し、株主総会での影響にも目を配り、最新の事例にも触れながら解説。

### 主要講義項目

#### 第1 株主・機関投資家の類型別の基礎知識

##### I 様々な株主・機関投資家

- 1 昔の分類
- 2 最近の分類要素
- 3 株主・投資家の特徴が表れる場面
- 4 現代の分類
- 5 投資家の分類

##### II 企業買収の歴史

- 1 昭和～平成初期
- 2 平成中期～令和

##### III 現代のアクティビスト

- 1 アクティビストの特徴と活動
- 2 アクティビスト対応

##### IV アクティブ投資家とパッシブ投資家

- 1 アクティブ投資家（ファンド）
- 2 アクティブ投資家対応
- 3 パッシブ投資家（ファンド）
- 4 パッシブ投資家対応

##### V グリーンメーラー

- 1 グリーンメーラーの特徴と手法
- 2 グリーンメーラー対応

#### VI 個人株主・投資家

- 1 個人投資家の分類
- 2 個人投資家対応

#### 第2 株主・機関投資家対応の基礎と誤解

##### I 株主とは会社にとってどういう存在か

- 1 株主とは
- 2 株主平等原則

##### II 株主を知る

- 1 株主構成
- 2 株主名簿と総株主通知、個別株主通知
- 3 株主判明調査
- 4 株主構成の理想

##### III 上場の意義

- 1 本来の上場の意義
- 2 上場の意義の現実

##### IV 株主・機関投資家等の動向を知る

- 1 機関投資家とは

- 2 議決権行使助言機関
- 3 議決権行使基準

#### V 株主とのコミュニケーション

- 1 いわゆる「対話」とは
- 2 IR (Investor Relations) 活動の基本

#### 第3 今後の株主対応の展望

- 1 分類しにくい株主の出現
- 2 今後の株主総会の潮流
- 3 同意なき買収等
  - ①伊藤忠→デサント (TOB)
  - ②日本製鉄→日本製鋼 (TOB)
  - ③ニトリ→島忠 (TOBから友好的買収へ)
  - ④マルハニチロ→東都水産 (株主提案)
  - ⑤NIDEC→TAKISAWA (予告TOB&不同意買収から同意へ)
- 4 同意なき買収に関する名称変更
- 5 同意なき買収と対抗措置の分析
  - ①株主総会型と取締役会型
  - ②日本アジアグループ
  - ③三ツ星

※ 講義の内容等について受講者から講師に質問できる質疑応答の時間を設定しています。(講義時間：約3時間 [講義+質疑応答])

### ●講師紹介●

中西和幸 (なかにし かずゆき) 弁護士 (田辺総合法律事務所)

東京大学法学部卒。1995年第一東京弁護士会登録。第一東京弁護士会総法研会社法研究部会長 (2007～2011) (株)レナウン社外取締役 (2010)、オーデリック(株)社外監査役 (2012～2016)、(株)グローバル・リンク・マネジメント社外取締役監査等委員 (2018～)。金融庁企業会計審議会監査部会臨時委員 (2017～2021)。会社法、不正調査、危機管理、株主総会指導、M&A、金商法、金融法務、各種訴訟を主な業務とする。編著書『Q&A兼務役員の法務と実務－企業集団における人材活用』(商事法務・編集・共著)『企業不祥事インデックス 第2版』(商事法務・共著)他多数

### 開催日程・開催場所・申込期限

◇本講は会場開催セミナーです◇

- 開催日程：2023年11月1日(水)14時～17時
- 開催場所：株式会社商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)
- 定員：40名(先着順) ● 申込期限：2023年10月31日(火) ● 受講料(1名分)：33,000円(税込)

※ 受講制限のお知らせ：講義内容・趣旨等を考慮のうえ、セミナーへの出席をご遠慮願う場合がございます。

※ 株主総会担当者基礎研修コース(全7講、コース受講料132,000円(税込))では、選択科目として本講をWEB受講いただけます。同コースの詳細は弊社HPのセミナー案内でご確認ください。

※お申込方法等は、裏面をご覧ください。

## 講座開設の趣旨

- ◆株式会社にとって、株主・機関投資家とはどういう存在でしょうか。かつて、株主提案などの働きかけをしてくる株主は、一部の特殊な、敵対的な存在と見られていた時代もありました。しかし、現在は、機関投資家がアクティビストの株主提案を支持し、議案によっては翌年に取締役会提案となるなど結果的に株主の要求が通る場面も見られます。コーポレートガバナンス・コードにおいても「対話」の重要性が強調され、会社には、株主・機関投資家と向き合うことで企業価値を向上する姿勢が求められています。もはや単純な対立構造で語る時代は過去のものとなりました。
- ◆従前の感覚のまま、株主提案をしてくる株主を「アクティビスト」や「物言う株主」などと十把一絡げにしたり、敵・味方に分けたりしてしまうような風潮も今なお一部で見受けられます。また、買収防衛策(同意なき買収への対抗措置)が万能であるかのような誤解があるかもしれませんが、買収防衛策の差し止めが最高裁で認められた事例もあります。こうした中、株主対応は企業の経営課題の一つであり、正しい理解のうえで、株主を分析し、対応を検討することは、戦略的な株式実務に欠かすことができません。
- ◆本セミナーでは、まず、株主の特徴を様々な角度から分類し、類型ごとの対応のあり方を実務的に検討いたします。その上で事例を踏まえつつ、会社にとって株主とはどのような存在かという基本に立ち返りながら、株主対応の基礎知識を整理します。株主総会での影響にも目を配り、最新の事例にも触れながら解説しますので、新たに担当者となった方だけでなく、現在の動向を網羅的に確認したい方にも受講をお勧めします。

## お申込要領・ご注意事項

- 受講のお申込みは、弊社HPの各セミナー案内画面からWEB上にてお申し込みいただくか、下記申込書に必要事項をご記入のうえFAX・郵便にてご送付ください。お申込みの受付後、請求書を郵送いたします。
- 受講料は、ご送付する請求書に従って、お振込みください。特にお申出のない限り、銀行の受領証をもって領収証にかえさせていただきます。なお、「振込手数料」等は、ご負担くださいますようお願いいたします。
- 講義資料等を別途郵送する旨をご案内しているセミナーについての講義資料等発送後は、キャンセルは一切お受けできません。ご送付する請求書に従ってお振込みください。
- ご記入の個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」に従って適切に取り扱います。
- 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーの受講をお断りいたします。
- 講義内容等または主催者の都合により、受講資格を制限させていただき、受講のお申込みをお受けできない場合がございます。
- 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の市中感染状況や感染症蔓延防止のための政府方針、また天変地異の発生等の諸事情によりセミナーの開催・配信を中止・延期する場合がございます。
- 会場での録音・撮影、パソコン・携帯電話の使用はご遠慮願います。
- 発熱、ひどい咳等体調不良の兆候がある場合は、セミナーへのご出席をお控えください。なお、受付時等に前記のような兆候が認められる場合、ご退室をお願いする場合がございます。
- 申込先 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 (日本橋フロント3階)  
株式会社商事法務ビジネス・ロー・スクール (URL: <https://www.shojihomu.co.jp/>)  
電話: 03 (6262) 6761 (ダイヤルイン) Eメール: [law-school@shojihomu.co.jp](mailto:law-school@shojihomu.co.jp)

本セミナーの  
案内画面 →



----- 切り取らないでください -----

### 〈有料セミナー〉 受講申込書

株式会社 商事法務 行

申込日: 2023年 月 日

FAX. 03-6262-6802

●お申込欄中、※印の部分は必須でご記入願います。

講座名:『基本から理解する 株主・投資家との関係』(受講料: 33,000円(税込) 1名分)

※社名		※住所	(〒 - )
※部署名:			
業種:		※TEL.	- -
※受講者名	※受講者のEメールアドレス	社歴等(端数切上) 入社後 実務経験	今後のご案内の要否(注)
		約__年 約__年	郵送希望 Eメール希望

(注)本「受講申込書」ご記入の連絡先に、今後のセミナー案内等をするを希望される方は、○で囲んでください。↑